

(一般質問)

質問日		令和6年12月11日（水）		質問方式		分割方式					
質問順位		11	会派名		自由民主党浜松	議席番号		43	氏名		花井 和夫
表 題			質 問 内 容							答弁者の職名	
1 魅力ある公園づくりについて			都市公園の再生や活性化を目的にP a r k－P F Iの創設や公園協議会の規定を盛り込んだ都市公園法の改正から7年が経つ。公園のハード面の充実を図る制度の活用は一定程度進み、全国各地では先進的・効果的な事例も見られるが、一方で、より柔軟に公園を使いこなすための公園の管理運営に関しては進んでいないと言われている。令和3年策定の本市緑の基本計画の中で、官民連携による公園の活性化について触れており、多様な主体が関わることができる仕組みとして公園協議会の導入や公園愛護会の活性化などを挙げており、使われる公園として、活性化や魅力づくりに向けて、公園の活用方法や人財育成など様々な取組が今行われている。 そこで、以下伺う。 (1) みどりの人財支援プロジェクトについて ア プロジェクトも3年目となるが、これまでの取組と成果について伺う。 イ プロジェクトの今後の方向性について伺う。 (2) 公園協議会について ア 本市での公園協議会設立に向けた取組について伺う。 イ 万斛庄屋公園での公園協議会の設立について伺う。 (3) 本市の都市公園におけるP a r k－P F I制度等の民間活力導入に関する取組について伺う。 (4) 令和4年4月に都市型公園として遠州鉄道高架下に「新川モール」が完成した。明るく開放的な公園としてベンチやトイレも設置され、都心の新しい憩いの場や賑わいづくりの拠点となっている。中心市街地活性化を目的に再整備されたことを機に産業部の所管となり、指定管理者の下で様々な取組が行われているが、利活用の状況や今後の取組について伺う。							中村花みどり 担当部長	
										〃	
										〃	
										北嶋産業部長	
2 慰霊碑の維持管理対策について			積志中学校の敷地内にある戦没者慰霊碑は建立から68年が経過し、倒壊の危険が指摘されている。市内には同様の慰霊碑が194基あり、他にも顕彰碑など数多くあり地震等での破損や倒壊の危険性も指摘されている。慰霊祭の開催等により必死に守り抜いてきた遺族会は高齢化等で相次いで解散に追い込まれており、慰霊碑の維持管理が限界となるなど、全国的な課題となっている。国においても慰霊碑の移設や埋設に関する補助制度もあるが、条件が厳しく活用が進んでいない。全国では滋							山名副市長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	賀県米原市のように自治体が慰霊碑の撤去や新たに統一的な慰霊碑建立を行った事例もある。戦後80年が経過する中で、戦争の悲惨さとともに平和の尊さを次世代に引き継いでいくためにも、慰霊碑を適切に維持管理していくことも大事である。 そこで、以下伺う。 (1) 市として市内の慰霊碑等の現状や安全対策についてどう把握しているか伺う。 (2) 小中学校等市の敷地内に設置されているものもある。今後、慰霊碑等の管理者が不明で適切な維持管理がなされず、慰霊碑の倒壊等でケガ人が出る危険な状態も予想されるが、市としてどのように対応していくか、方針について伺う。 (3) 全国では遺族会や有識者等により慰霊碑に関する協議会等を設置し、答申をもとに自治体が撤去や移設、統一した慰霊碑を建立する事例もあるが、本市としてもそうしたことを行う考えはないか伺う。	
3 音楽あふれるまちづくりについて	第12回浜松国際ピアノコンクールが開催された本年は、ユネスコの創造都市ネットワークの音楽分野での加盟認定から10年の節目となる。同じく加盟都市である札幌市は、「メディアアーツ都市」に承認され、「No Maps」と命名したデジタルクリエイティブのコンベンションイベントを開催している。また、アメリカのオースティンでは、音楽をはじめとするクリエイティブが世界中から集まるコンベンションである「サウス・バイ・サウスウエスト (SXSW)」が開催されている。 本市においても、誰もが多様な価値観や角度から音楽へつながることを体感でき、世界の音楽関連クリエイティブが注目する「浜松版SXSW」のような取組が開催できれば、次代を担う創造的な人材の育成にもつながると考える。 また、本市「創造都市・浜松」推進のための基本方針においては、「本市では、市民が身近な創造性に“気づき”、様々な場面において創造性を意識しながら“活動”していくような環境の整備に取り組みます。」と規定しており、本年度は、吹奏楽プロムナードコンサートや軽音楽フェスティバルが実施され、音楽あふれるまちづくりにつなげている。 そこで、以下伺う。 (1) 音楽創造都市の人材育成に向けた「浜松版SXSW」の開催に向けて、今後の取組を伺う。 (2) 音楽の都づくりの大切な一歩となる市民が身近に音楽に触れられる事業の展開について、今後の取組を伺う。	中野市長 嶋野文化振興担当部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
4 理科教育の充実とSTEAM教育について	科学技術立国を標榜する日本において、将来の科学者や技術者が不足し、わが国のイノベーションが停滞する恐れが高まっていると言われている。理科に対する興味や関心が薄れつつあり、理科離れや理系への進学を避ける傾向が高まっている。 ものづくり産業が盛んな本市において、大学や企業などとの連携、観察や実験を中心とした理科の授業推進など理科教育の充実に努め、ものづくり都市浜松の未来を担う人材育成につなげてきた。今後も、その基盤となる人材を育てていくことが本市の発展に必要である。理科教育は、これからの時代に必要とされる、自ら主体的に学び、課題を発見し解決する力を育む教科として、その役割がより一層重要になっている。 こうした中で、より科学的な視点や手法を用いて創造性や課題発見・解決能力を養うSTEAM教育の推進が期待されている。 そこで、以下伺う。 (1) 理科教育の現状と今後の取組について伺う。 (2) STEAM教育への取組について ア どのような児童・生徒を育てていくのか伺う。 イ 課題をどう捉えているのか伺う。	宮崎教育長
5 地域防災力の向上に向けて	毎年のように発生する豪雨災害や能登半島地震の発生、また、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）の発令で市民の防災意識は大きく高まってきている。地域防災力の更なる向上に向けて、地域の防災リーダーの育成とともに、NPOなど防災関係団体と行政や地域との連携強化は重要である。地域や企業での防災リーダーであり、災害に対する専門的知識を有する防災士が行政や地域と連携し、市民の防災力を高めることを目的に本年9月に浜松防災士会が結成された。 そこで、今後の連携について伺う。	石田危機管理監
6 公営競技について	公営競技は、関連産業の振興や公益の増進、地方財政への貢献を目的に行われる事業であり、その収益金は社会福祉や教育、まちづくりの貴重な財源として活用されている。本市が関連するものとして、小型自動車競走事業である浜松オートレースとモーターボート競走事業であるボートレース浜名湖が施行されている。スマートフォンの利用などネット投票による売り上げが伸びており、好調に推移していると聞く。 一方で、本場の活用や施設の老朽化も課題となっている。今後の事業運営における収益金の額や活用方法につ	北嶋産業部長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	いて広く市民に知って頂くことや、本市の施策とも連携し、本市をPRしていくことも公営競技を理解して頂く上で大事である。 そこで、以下伺う。 (1) 浜松オートレースについて ア 事業の現状について伺う。 イ 事業の今後について伺う。 (2) ボートレース浜名湖について ア 事業の現状について伺う。 イ 分配金の使途について伺う。	